

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 (地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月 日

協議会名: 中井町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

A: 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された
 B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった
 C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

A: 事業が計画に位置付けられた目標を達成した
 B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった
 C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
神奈中タクシー株式会社	<p>運行系統名: 中井町オンデマンドバス (通称:中井ふれあいバス)</p> <p>運行区域: 中井町内全域(乗降ポイント119箇所)及び一部町外(乗降ポイント1箇所)を対象としたデマンド型交通システム(区域運行型)</p> <p>運行日:月曜日～金曜日</p> <p>運行時間:7時～19時</p> <p>運賃: 町内 大人200円、小人100円 町外 大人400円、小人200円</p>	<p>前回の事業評価では、住民を巻き込み、自分事化するような仕組みの検討や、定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながらの推進といった助言があった。</p> <p>地域公共交通計画の策定が完了し、目標達成のために位置づけられた事業を着実に進めつつ、評価指標の数値が向上するよう努めた。</p> <p>65歳以上の方及び妊産婦の方について、希望のポイントで降車ができるサービスを実施しており、新たに年齢到達した方等を対象に加えることとした。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>B</p> <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。</p> <p>目標:利用者数 42人/日 実績:利用者数 32人/日 分析:登録者数は微増しているものの、登録してもただちに利用しない人が一定数存在する。念のために登録していると思われるが、まずは一度利用してもらえよう周知等を行い、すそ野を広げる必要がある。</p> <p>一方、交通空白地域の在住者、運転免許を持たない交通弱者など本来救うべき移動手段の無い人等の利用は一定の件数で推移している。</p>	<p>現行の運行体制で、交通空白地域の在住者や交通弱者等が利用しやすい環境が一定程度維持されているが、より効率的な運行のためには乗り合いを増やすことが重要であり、人の移動の目的地となる交通結節点のような場所を造りだす必要がある。</p> <p>引き続き、路線バスを補完するフィーダー的役割を担っているオンデマンドバスの安定的な運行を図るとともに、障害や年齢などに関係なく、誰もが利用しやすい交通環境を構築していくことを目指す。</p>

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年1月 日

協議会名：	中井町地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>中井町地域公共交通計画の基本理念：「町民の暮らしを支える利用しやすい地域公共交通の構築」</p> <p>上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性：中井町には鉄道駅がなく、最寄り駅までは路線バスが運行されているが、町内の広範囲にわたり公共交通空白地域が点在している。その路線バスも運転手不足等の課題があり、減便傾向にある。日常生活に必要な最低限の交通手段の確保及び住民の移動ニーズに合った交通手段の提供といった公共交通の充実のため、さらには、町全体の魅力を高め、定住・交流を促進するまちづくりのツールとして、平成25年1月から中井町オンデマンドバスを運行しており、今後も誰もが安心・快適に移動できる仕組みを検討しながら、地域公共交通の確保・維持・改善に向けた取組を継続していく。</p>